

# 第60期 中間報告書

平成23年4月1日▶▶平成23年9月30日

証券コード:7239





代表取締役社長 田口 裕史

平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼を申し上げます。

この度の東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社、第60期第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)の決算を終了いたしましたので、ここに事業活動の概況をご報告申し上げます。

平成23年12月

## Q 当第2四半期連結累計期間の経済環境はいかがでしょうか？

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、国内では東日本大震災の影響から経済活動は徐々に回復しつつあるものの、一方で急速に円高が進行するなど先行き不透明な状況で推移しました。また、海外では、欧州での財政不安の深刻化や米国経済の停滞など、依然として景気下振れリスクを抱えておりますが、中国やインドでは景気は拡大し、その他新興国においても回復基調にあったことから、全体としては緩やかな回復に向かいました。

当社グループの関連する自動車業界におきましては、震災後のサプライチェーンの順調な立て直しにより自動車生産は正常な状況となりましたが、円高の長期化による輸出への影響も懸念されるなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

## Q 当社グループの第2四半期連結累計期間の業績はいかがでしょうか？

このような経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間における業績は、東日本大震災による自動車メーカー各社の減産影響を大きく受け、売上高は870億2千8百万円と前年同四半期に比べ253億4千2百万円(22.6%)の減収となりました。その結果、営業利益は17億7千7百万円(前年同

### 連結決算ハイライト

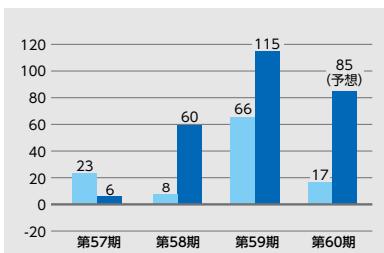
#### ■ 売上高

(単位:億円)



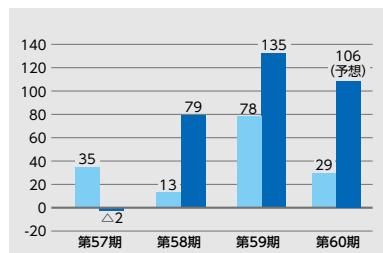
#### ■ 営業利益

(単位:億円)



#### ■ 経常利益

(単位:億円)



四半期比73.2%減)、経常利益は29億1千7百万円(前年同四半期比62.8%減)、四半期純利益は16億9千2百万円(前年同四半期比64.6%減)となりました。

## Q 地域別セグメントにおける業績はいかがでしょう？

セグメントの業績は次のとおりであります。

### ①日本

第1四半期において得意先自動車メーカー各社の減産影響を大きく受け、売上高は432億3千3百万円(前年同四半期比28.7%減)、営業損失4億7千7百万円(前年同四半期は営業利益33億4千2百万円)となりました。

### ②米国

第1四半期において得意先自動車メーカーの減産影響を大きく受け、売上高は150億7百万円(前年同四半期比31.0%減)、営業利益は5億2千8百万円(前年同四半期比63.3%減)となりました。

### ③カナダ

第1四半期において得意先自動車メーカーの減産影響を大きく受け、売上高は43億1千3百万円(前年同四半期比41.6%減)、営業利益は1億9百万円(前年同四半期比56.1%減)となりました。

### ④メキシコ

売上高は117億3千2百万円(前年同四半期比3.9%減)と

なりましたが、新規車種の生産立ち上げ費用負担などにより、営業利益は1億8千1百万円(前年同四半期比72.4%減)となりました。

### ⑤フランス

自動車座席部品の販売増加により、売上高は9億6千2百万円(前年同四半期比171.6%増)、営業利益は5千2百万円(前年同四半期は営業損失2千7百万円)となりました。

### ⑥中国

引き続き旺盛な自動車需要を背景に得意先からの自動車座席受注も堅調に推移したことから、売上高は117億7千9百万円(前年同四半期比17.6%増)、営業利益は14億2千6百万円(前年同四半期比40.7%増)となりました。

## Q 今後の見通しはいかがでしょう？

通期の連結業績予想につきましては、欧州信用不安、歴史的円高の継続、タイでの洪水被害等により先行きの不透明感が一段と増しておりますが、現時点においては、平成23年7月28日公表のとおり公表値から変更はなく、売上高は2,020億円、営業利益は85億円、経常利益は106億円、当期純利益は65億円としております。

今後、タイの洪水被害等による当社グループの国内外生産への影響を見極めた上で、修正が必要と判断される場合には、お知らせいたします。



■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 平成23年9月30日現在	前期末 平成23年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	61,045	62,311
固定資産	39,802	37,798
有形固定資産	21,334	20,291
無形固定資産	353	474
投資その他の資産	18,114	17,032
資産合計	100,847	100,109
<b>負債の部</b>		
流動負債	38,176	37,365
固定負債	8,280	8,601
負債合計	46,457	45,967
<b>純資産の部</b>		
株主資本	55,135	53,782
資本金	8,145	8,145
資本剰余金	7,836	7,836
利益剰余金	41,113	39,760
自己株式	△1,960	△1,960
その他の包括利益累計額	△5,088	△3,650
その他有価証券評価差額金	1,014	1,272
為替換算調整勘定	△6,103	△4,923
少数株主持分	4,343	4,010
純資産合計	54,390	54,142
負債純資産合計	100,847	100,109

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	87,028	112,370
売上原価	80,459	100,108
販売費及び一般管理費	4,791	5,630
営業利益	1,777	6,630
営業外収益	1,562	1,505
営業外費用	423	299
経常利益	2,917	7,837
特別利益	27	33
特別損失	37	346
税金等調整前四半期純利益	2,906	7,525
法人税、住民税及び事業税	678	1,700
法人税等調整額	△235	131
少数株主利益	771	914
四半期純利益	1,692	4,778

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,367	6,217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,264	△149
財務活動によるキャッシュ・フロー	△706	1,031
現金及び現金同等物に係る換算差額	△913	△1,032
現金及び現金同等物の増減額	△5,252	6,068
現金及び現金同等物の期首残高	27,214	14,610
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,962	21,908

## モノづくりの更なる強化のため 「技術・モノづくりセンター」を建設しております。

当社は長期ビジョンである「Challenge 15」早期達成のため、品質力・収益力の強化に取り組んでおります。その一環として、約28億円を投資し、現在「技術・モノづくりセンター(TTMC)」を建設しております。

技術・モノづくりに関わる部署を集約して開発業務の効率化を図ると共に、コア技術を日本で確立・標準化し、世界へ展開することにより、世界同一品質の実現と低コスト化を推進してまいります。また、青梅市に所在する当社技術センターと、当社青梅工場内にある一部の生産部門を移転・統合することにより、更なる経営効率向上を目指します。

新社屋は地上4階で、約500名の社員が勤務します。また、太陽光発電や屋上緑化の採用など、環境に配慮した取り組みも行っております。

当社のグローバルビジネスの発信基地としての役割を果たすべく、来年の稼働開始に向けて着々と建設が進んでおります。



■技術・モノづくりセンター完成予想図

## グローバル競争力強化のため、新型フレームを開発いたしました。

当社は、フレーム(シートの骨格部品)をシートの戦略部品と位置づけ開発を行っておりますが、従来品に比べ安全性能を向上させたうえで新興国でも生産可能な新型フレーム「TTKフレーム」を開発いたしました。

このTTKフレームを中国のフレーム生産会社「上海泰極愛思汽車部件有限公司」(当社100%子会社)で、また、フレームに付属する機構部品を隣接する「浙江富昌泰汽車部件有限公司」(富士機工株式会社・信昌国際投資有限公司と共同で設立)でそれぞれ集中生産し、コスト競争力の高いフレームを周辺地域へ供給してまいります。既にTTKフレームを各得意先へ提案し、複数車種で採用が決定しております。

さらに、次世代TTKフレームの開発も進めております。安全性能を損なうことなく部品点数を減らし、軽量化を図ることにより、新興国を含めたグローバルでのコスト・質量競争力を大幅に向上させます。

当社は、グローバル競争力強化のため、TTKフレームの更なる展開を図ってまいります。



■フレーム事業拠点のイメージ

## 第42回東京モーターショーに出展いたします。

第42回東京モーターショーが12月2日から11日にかけて東京ビッグサイトにて開催されます。当社も、「Global Seat System Creator」をコンセプトに、グローバルで業界に存在感を示せる企業として当社のコア技術であります次世代骨格、機構部品と将来技術への取り組みとして新開発技術の製品を展示いたします。

ここでは注目となる3つの製品をご紹介します。

一つ目は、通気性と耐久性に優れた軽量繊維パッド「Fuwa・la・ito™」(フワライト™)です。繊維パッドの成型技術により、ウレタンに比べ30%の軽量化となります。

二つ目は、やわらかい立体成形品を縫いこんだ新機能トリムカバー「SoftShell™」(ソフトシェル™)です。カップや小物を収納できるホルダーを、トリムカバーの一部として組み込むことで、優しく包み込むようなカップホルダーを提案します。

そして三つ目は、石油由来のポリウレタンの代わりに非食用の植物由来原料を使用した、環境に優しい注入発泡成形技術の「Biofoam™」(バイオフォーム™)のヘッドレスト/アームレストです。

要求される性能はそのままに、製造から廃棄に至るサイクルでCO2排出量を約12%抑制し、化石燃料の使用量を約21%低減することが可能です。

また、タチエスグループのグローバル受注車シートも展示しております。会場にいらした際には是非、タチエスのブースにお立ち寄りください。



■当社のブース (イメージ)



■Fuwa・la・ito™



■Biofoam™ ヘッドレスト



■SoftShell™

## ■会社概要

設立	昭和29年4月7日
本店	東京都昭島市松原町3丁目3番7号
資本金	8,145百万円
従業員数	5,936名(連結) 1,385名(単体)
主要な事業内容	自動車座席・座席部品の製造及び販売

## ■株式の状況

発行可能株式総数	140,000,000株
発行済株式の総数	35,022,846株
株主総数	3,629名
大株主及び持株数	

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
ジョンソンコントロールズ株式会社	1,800	5.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,572	4.79
日野自動車株式会社	1,521	4.63
株式会社齊藤	1,514	4.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,308	3.98
タチエス取引先持株会	1,078	3.28
齊藤 静	1,046	3.19
河西工業株式会社	905	2.76
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	763	2.33
株式会社三井住友銀行	750	2.28

\*出資比率は自己株式(2,182,457株)を控除して計算しております。

## ■役員

代表取締役会長	齊藤 潔		
最高経営責任者			
代表取締役社長	田口 裕史		
最高執行責任者			
取締役・副社長	野上 義之	川村 清治	
	中山 太郎		
取締役・常務執行役員	小林 英雄	蒲生 睦	
社外取締役	木津川 迪治		
常勤監査役	関口 義雄	原田 文雄	
社外監査役	一法師 信武	松尾 慎祐	
常務執行役員	三木 浩憲	松下 隆樹	
	伊月 憲	富山 正	
執行役員	青地 徹		
	工藤 勉	榎本 一夫	
	長井 邦	岩崎 信也	
	岩井 徹	内藤 博彦	
	山本 雄一郎	有重 邦雄*	

\*平成23年10月1日就任

## ■事業所

本社	技術センター	技術センター愛知
愛知工場	武蔵工場	青梅工場
栃木工場	平塚工場	鈴鹿工場

## ■国内グループ会社

<b>シート事業</b>	<b>その他</b>
錦綾工業株式会社	株式会社タチエスパーツ
<b>シート縫製事業</b>	立川発条株式会社
株式会社Nui Tec Corporation	タチエスサービス株式会社
<b>シート機構部品事業</b>	株式会社TSデザイン
富士機工株式会社	

## ■海外グループ会社

<b>開発/統括</b>	
Tachi-S Engineering U.S.A., Inc.	(アメリカ)
Tachi-S Canada, Ltd.	(カナダ)
Tachi-S Engineering Europe S.A.R.L.	(フランス)
泰極愛思(広州)企業管理有限公司	(中国)
福州泰昌汽車座席開発有限公司	(中国)
Tachi-S Thailand Co., Ltd	(タイ)
<b>シート事業</b>	
TACLE Seating U.S.A., LLC	(アメリカ)
Setex, Inc.	(アメリカ)
Setex Canada GP	(カナダ)
Industria de Asiento Superior, S.A. de C.V.	(メキシコ)
TACLE Seating U.K. Limited	(イギリス)
武漢泰極江森汽車座席有限公司	(中国)
広州泰李汽車座席有限公司	(中国)
鄭州泰新汽車内飾件有限公司	(中国)
鄭州東風李爾泰新汽車座席有限公司	(中国)
浙江吉俱泰汽車内飾有限公司	(中国)
Pt. Tachi-S Indonesia	(インドネシア)
TACLE Seating Thailand Co., Ltd.	(タイ)
TACLE Automotive India Private Limited	(インド)
<b>シートフレーム事業</b>	
上海泰極愛思汽車部件有限公司	(中国)
<b>シート縫製事業</b>	
TechnoTrim, Inc	(アメリカ)
泰極(広州)汽車内飾有限公司	(中国)
<b>シート機構部品事業</b>	
Fuji Autotech U.S.A., LLC	(アメリカ)
広州富士機工汽車部件有限公司	(中国)

## ■当社製品採用車種

ホンダ	アコード、CR-Z、ストリーム、フリード、ライフ、アキュラMDX、CR-V、スペリア
日産	フーガ、スカイライン、シルフィ、GT-R、フェアレディZ、インフィニティFX、インフィニティEX、デュアリス、ダットサントラック、ラフェスタJOY、NV200パネット、パトロール、アルティマクレーブ、マキシマ、ヴァーサ、マーチ、サニー、リヴィナ、パラディン、アルメーラ、セントラ、ツル
トヨタ	プレミオ、アリオン、ヴィッツ
三菱	RVR、コルト、コルトプラス
日野自動車	ブラド、FJクルーザー、プロフィア、デュトロ(トヨタ ダイナ)、ナップス
UDトラックス	クオン、ビッグサム、コンドル

## 単元未満株式の買取・買増手続と株主優待制度について

当社では、株主の皆様への利益還元のひとつとして、当社株式1単元(100株)以上ご所有の株主様を対象に、下記の基準により株主優待制度を実施しております。

<株主優待(QUOカード)支給基準>

ご所有株式数	中間(基準日9月30日)	期末(基準日3月31日)
1,000株以上	1,000円相当	3,000円相当
100株以上1,000株未満		1,000円相当

また当社では、単元未満株式の買取制度及び買増制度※をご利用いただけます。詳しくはお取引のある証券会社又は、下記記載の中央三井信託銀行へお問い合わせください。

※買取制度は、単元未満株式(100株未満)をご所有の場合、当社にその株式の買取を請求することができる制度です。買増制度は、例えば単元未満株式を30株ご所有の場合、70株を当社に買増請求し、持分を1単元(100株)とすることができる制度です。単元未満株式しか所有していない場合でも、買増制度により1単元とすることが可能です。



QUOカード 3,000円券



QUOカード 1,000円券

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号
定時株主総会	毎年6月下旬	特別口座管理機関	中央三井信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会 毎年3月31日		
	期末配当 毎年3月31日		
	中間配当 毎年9月30日		
	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。		

単元株式数 100株

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先、その他お問い合わせ先

	証券会社に口座を開設されている株主様	証券会社に口座を開設されていない株主様 (特別口座に記録されている株主様)
郵送物送付先	お取引の証券会社	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話番号		0120-78-2031(フリーダイヤル)
取次窓口		中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

未受領の配当金につきましては、中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 株式会社タチス

株主様窓口<総務部>  
〒198-0025 東京都青梅市末広町1丁目7番8号 TEL.0428-33-1911  
ホームページ <http://www.tachi-s.co.jp/>

